

大学等における修学の支援に関する法律施行規則第5条第3項の

更新確認に係る申請書

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

|      |           |
|------|-----------|
| 学校名  | 福岡女子短期大学  |
| 設置者名 | 学校法人 九州学園 |

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

| 学部名  | 学科名    | 夜間・通信制の場合 | 実務経験のある教員等による授業科目の単位数 |         |      |    | 省令で定める基準単位数 | 配置困難 |
|------|--------|-----------|-----------------------|---------|------|----|-------------|------|
|      |        |           | 全学共通科目                | 学部等共通科目 | 専門科目 | 合計 |             |      |
|      | 健康栄養学科 | 夜・通信      | 10                    |         | 52   | 62 | 7           |      |
|      | 音楽科    | 夜・通信      |                       |         | 53   | 63 | 7           |      |
|      | 文化教養学科 | 夜・通信      |                       |         | 43   | 53 | 7           |      |
|      | 子ども学科  | 夜・通信      |                       |         | 71   | 81 | 7           |      |
| (備考) |        |           |                       |         |      |    |             |      |

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

|   |
|---|
| <a href="https://www.fukuoka-wjc.ac.jp/about/pdf/jitsumu-kamoku.pdf">https://www.fukuoka-wjc.ac.jp/about/pdf/jitsumu-kamoku.pdf</a> |
|---|

3. 要件を満たすことが困難である学部等

|                   |
|-------------------|
| 学部等名              |
| (困難である理由)<br>該当なし |

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

|      |           |
|------|-----------|
| 学校名  | 福岡女子短期大学  |
| 設置者名 | 学校法人 九州学園 |

1. 理事（役員）名簿の公表方法

[https://www.fukuoka-wjc.ac.jp/hojin/pdf/riji\\_meibo.pdf](https://www.fukuoka-wjc.ac.jp/hojin/pdf/riji_meibo.pdf)

2. 学外者である理事の一覧表

| 常勤・非常勤の別 | 前職又は現職   | 任期                          | 担当する職務内容<br>や期待する役割 |
|----------|----------|-----------------------------|---------------------|
| 非常勤      | 天満宮顧問    | 2021.4.1<br>～<br>2025.3.31  | 経営計画の策定             |
| 非常勤      | 国立博物館館長  | 2022.7.28<br>～<br>2023.7.27 | 経営計画の策定             |
| 非常勤      | 国立大学名誉教授 | 2023.4.1<br>～<br>2027.3.31  | 経営計画の策定             |
| 非常勤      | 元大学教授    | 2020.5.22<br>～<br>2024.3.31 | 経営計画の策定             |
| (備考)     |          |                             |                     |

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

|      |           |
|------|-----------|
| 学校名  | 福岡女子短期大学  |
| 設置者名 | 学校法人 九州学園 |

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

|  |   |
|--|---|
| 1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。  |   |
| (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)  |   |
| <p>本学では授業概要、到達目標、授業計画、成績評価方法、フィードバックの方法、教科書、参考書、アクティブ・ラーニング、ICT活用等を記載したシラバスを作成し、ホームページで公表している。</p> <p>シラバスに記載する内容と作成要領は、教務委員会で検討して決定し、授業を担当する全教員（非常勤を含む）に周知している。本年度のシラバスについては、全教員を対象に「シラバス作成について」のFD研修会を令和4年12月21日（水）に実施後、作成した。</p> <p>作成された「シラバス」については、教務委員会を中心とした他教員による第三者チェックを実施している。</p> <p>第三者チェック終了後、ホームページでシラバスを公開している。学生はWeb上で確認できる。</p> |   |
| 授業計画書の公表方法   | <a href="http://midori-system.jp/fwjc_syllabus2023/">http://midori-system.jp/fwjc_syllabus2023/</a> |
| 2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。   |   |
| (授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)   |   |
| <p>授業科目の学修成果の評価については、シラバスに成績評価方法として記載し、学生に周知している。教員は、筆記試験やレポート、課題、実技、受講状況・態度など、シラバスに記載した成績評価方法のとおり、学修成果の評価を行い、これに基づいて単位を与えている。</p>   |   |

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

履修科目の成績は、100点満点の点数であらわし、次の基準で定めた、S、A、B、C、Dで評価している。S～Cは合格、Dは不合格である。

|    | 合格      |        |        |        | 不合格    |
|----|---------|--------|--------|--------|--------|
| 評価 | S       | A      | B      | C      | Dまたは失格 |
| 点数 | 100～90点 | 89～80点 | 79～70点 | 69～60点 | 59点以下  |
| GP | 4.0     | 3.0    | 2.0    | 1.0    | 0      |

S、A、B、C、Dでの成績評価に加えて、履修科目の成績をGP (Grade Point) に換算し、ある期間に履修した授業科目の平均的な評価としてGPA (Grade Point Average) を使用している。GPAは、学修成果を総合的に判断できる指標であるため、学生が自分の評価基準の参考となるよう「成績通知書」に記載している。

GPAは、次の計算式で算出される。

$$\text{GPA} = \frac{(\text{履修登録した科目のGP} \times \text{その科目の単位数})\text{の総和}}{\text{履修登録した科目の総単位数}}$$

1ポイント以下の場合、学生の指導をしている。

また、CAP制緩和の基準にも利用している。本学では、1の学期に履修できる単位数は、教職課程等の免許科目を除き30単位が限度だが、GPAの成績優秀者については、1の学期に履修できる単位数を、教職課程等の免許科目を除き、35単位まで緩和する措置をとっている。

GPA制度については、ホームページで公表するとともに、学生便覧に掲載し、オリエンテーション時に説明して学生に周知している。

|   |   |
|---|---|
| 客観的な指標の算出方法の公表方法  | <a href="https://www.fukuoka-wjc.ac.jp/about/diploma_1.html">https://www.fukuoka-wjc.ac.jp/about/diploma_1.html</a>           |
| 4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。   |   |
| <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本学の建学の精神を受け継ぐ教育理念は、「自ら行動する有能な社会人としての女性」、「専門の知識・技術をしっかり身に付け、その才を自ら伸ばす努力をする女性」の育成である。この教育理念から導き出された4つの観点（①知識・理解 ②思考・判断 ③興味・意欲・態度 ④技能・表現）、これに即した卒業までに獲得すべき能力を学修成果として定めている。学修成果を身に付け、本学の教育課程において所定の単位を修得した学生に学位を授与する。</p> <p>全学共通のディプロマ・ポリシーは次のとおりである。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教養豊かで物事を多角的な視点で捉え、様々な問題に対して論理的に考え、状況に応じた判断を下すことができる。</li> <li>2. 社会生活において遭遇する諸問題に適切に対処することができる。</li> <li>3. 自立した社会の一員として果たすべき責任を自覚している。</li> <li>4. 自らを律することができ、他者と共同で作業する力を身に付けている。</li> <li>5. 各学科の専門性に合わせた専門力量を修得し、社会の変化とニーズに対応し、主体的に活躍できる。</li> </ol> <p>各学科においても、上記①～④の4つの領域に関する学科のディプロマ・ポリシーを策定している。</p> <p>全学及び各学科のディプロマ・ポリシーは、ホームページで公表し、また学生便覧に掲載して学生に配布している。</p> <p>ホームページと学生便覧には、カリキュラム・ツリーやカリキュラム・マップを掲載し、卒業までにどのような力を身に付けることになるか明確に示している。</p> <p>卒業については、卒業までに身に付けなければならない学修成果を獲得し、2年以上在学して所定の単位数を修得した者について、教授会の議を経て、認定している。</p> <p>卒業認定の方針や卒業要件は、ホームページや学生便覧への掲載の他、オリエンテーション時に学生に説明して周知している。</p> |   |
| 卒業の認定に関する方針の公表方法  | <a href="https://www.fukuoka-wjc.ac.jp/about/diploma_policy.html">https://www.fukuoka-wjc.ac.jp/about/diploma_policy.html</a> |

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

|      |           |
|------|-----------|
| 学校名  | 福岡女子短期大学  |
| 設置者名 | 学校法人 九州学園 |

1. 財務諸表等

| 財務諸表等        | 公表方法  |
|--------------|---|
| 貸借対照表        | <a href="https://www.fukuoka-wjc.ac.jp/hojin/zaimu/taishaku.pdf">https://www.fukuoka-wjc.ac.jp/hojin/zaimu/taishaku.pdf</a>           |
| 収支計算書又は損益計算書 | <a href="https://www.fukuoka-wjc.ac.jp/hojin/zaimu/shikinshuushi.pdf">https://www.fukuoka-wjc.ac.jp/hojin/zaimu/shikinshuushi.pdf</a> |
| 財産目録         | <a href="https://www.fukuoka-wjc.ac.jp/hojin/zaimu/mokuroku.pdf">https://www.fukuoka-wjc.ac.jp/hojin/zaimu/mokuroku.pdf</a>           |
| 事業報告書        | <a href="https://www.fukuoka-wjc.ac.jp/hojin/zaimu/jigyohoukoku.pdf">https://www.fukuoka-wjc.ac.jp/hojin/zaimu/jigyohoukoku.pdf</a>   |
| 監事による監査報告(書) | <a href="https://www.fukuoka-wjc.ac.jp/hojin/zaimu/kanjikansa.pdf">https://www.fukuoka-wjc.ac.jp/hojin/zaimu/kanjikansa.pdf</a>       |

2. 事業計画(任意記載事項)

|             |         |
|-------------|---------|
| 単年度計画(名称: ) | 対象年度: ) |
| 公表方法:       |         |
| 中長期計画(名称: ) | 対象年度: ) |
| 公表方法:       |         |

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

|   |
|---|
| 公表方法: <a href="https://www.fukuoka-wjc.ac.jp/about/pdf/2022_jikotenken.pdf">https://www.fukuoka-wjc.ac.jp/about/pdf/2022_jikotenken.pdf</a> |
|---|

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

|   |
|---|
| 公表方法: <a href="https://www.fukuoka-wjc.ac.jp/osirase/hyouka.html">https://www.fukuoka-wjc.ac.jp/osirase/hyouka.html</a> |
|---|

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

|   |
|---|
| 学部等名 健康栄養学科   |
| 教育研究上の目的<br>(公表方法： <a href="https://www.fukuoka-wjc.ac.jp/about/pdf/gakka-mokuteki.pdf">https://www.fukuoka-wjc.ac.jp/about/pdf/gakka-mokuteki.pdf</a> )<br>(概要)<br><br>社会人としての常識・教養と食の専門家としての知識・技能・態度を身に付け、食と健康の分野で幅広く活躍できる人材の育成を目指す。  |
| 卒業の認定に関する方針<br>(公表方法： <a href="https://www.fukuoka-wjc.ac.jp/about/diploma_policy.html">https://www.fukuoka-wjc.ac.jp/about/diploma_policy.html</a> )<br>(概要)<br><br>卒業については、卒業までに身に付けなければならない学修成果を獲得し、2年以上在学して所定の単位数を修得した者について、教授会の議を経て、認定している。<br>健康栄養学科のディプロマ・ポリシーは、次のとおりである。<br><br>社会人としての常識・教養と食の専門家としての知識・技能・態度を身に付け、食と健康の分野で幅広く活躍できる人材の育成を目的とし、学科の学修成果を獲得して所定の単位を修得した学生に学位を授与する。<br><br>知識・理解<br>社会生活を営むために必要な教養と食の専門家として活躍するための豊かな知識を身に付けている。<br>思考・判断<br>修得した知識を踏まえて、物事を論理的に考え、適切な判断ができる。<br>興味・意欲・態度<br>・社会の一員としての倫理観と責任感、報恩感謝の気持ちを持った行動ができる。<br>・食や健康に関して興味を示し、社会に積極的に関わろうとする意欲を有する。<br>技能・表現<br>・人々との良好な人間関係を築くことができる。<br>・食と健康に関する専門技術と表現力を身に付けている。 |



教育課程の編成及び実施に関する方針

(公表方法：[https://www.fukuoka-wjc.ac.jp/about/curriculum\\_policy.html](https://www.fukuoka-wjc.ac.jp/about/curriculum_policy.html) )

(概要)

社会人としての常識・教養と食の専門家としての知識と技能を修得し、仕事に携わる上での基礎（力）が身に付くように次の方針でカリキュラムを編成している。

知識・理解

食の専門家として必要な知識を「社会生活と健康」「人体の構造と機能」「食品と衛生」「栄養と健康」「栄養の指導」「給食の運営」の分野ごとに基礎的なものから段階的に学ぶ。

思考・判断

修得した知識を実験や実習を通じて確認しながら、問題点を発見し、より良くする過程を通じて論理的な思考力・適切な判断力を養う。

興味・意欲・態度

- ・実験や実習での協働作業を通じて規律を守り、自分の役割を果たすことの大切さを学び、また、感謝を伝える術を修得する。
- ・学外実習など実社会を体験する機会を与えることで食を通じて社会に関わろうとする意欲を高める。

技能・表現

- ・実験や実習、学外実習を通じて良好な人間関係を構築する術と専門的コミュニケーションの技術を修得する。
- ・「栄養と健康」「栄養の指導」「給食の運営」「情報処理」などの科目を通じて栄養マネジメントの基本的な手法を身に付ける。

入学者の受入れに関する方針

(公表方法：[https://www.fukuoka-wjc.ac.jp/about/admission\\_policy.html](https://www.fukuoka-wjc.ac.jp/about/admission_policy.html) )

(概要)

全学科共通のアドミッション・ポリシーは、以下のとおりである。

- ・高等学校卒業又はそれと同等以上の学力を有し、基礎的な知識を有している。
- ・物事を多面的に考え、自分の意見をまとめることができる。

健康栄養学科のアドミッション・ポリシー

基本的な生活習慣が身に付いており、食を通じて社会に貢献したいという強い意志と情熱を持った、次のような人を求めている。

知識・理解

高等学校卒業及びそれと同等以上の学力を有し、基礎的な知識を有している。

思考・判断

物事を多面的に考え、自分の意見をまとめることができる。

興味・意欲・態度

- ・主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を持っている。
- ・食に関する様々なことに関心を持ち、食を通じて社会に貢献したいと考えている。

技能・表現

- ・自分の考えを他者に分かりやすく説明できる。
- ・基本的な調理技術を身に付けている。

学部等名 音楽科

教育研究上の目的

(公表方法：<https://www.fukuoka-wjc.ac.jp/about/pdf/gakka-mokuteki.pdf> )

(概要)

音楽の理論と実技の基本を常に大事にし、生涯にわたり、音楽に対して向上心を持ち続け、社会生活で主体的に行動できる人材の育成を目指す。

卒業の認定に関する方針

(公表方法：[https://www.fukuoka-wjc.ac.jp/about/diploma\\_policy.html](https://www.fukuoka-wjc.ac.jp/about/diploma_policy.html))

(概要)

卒業については、卒業までに身に付けなければならない学修成果を獲得し、2年以上在学して所定の単位数を修得した者について、教授会の議を経て、認定している。

音楽科のディプロマ・ポリシーは、次のとおりである。

音楽の理論と実技の基本を常に大事にし、生涯にわたり、音楽に対して向上心を持ち続け、社会生活で主体的に行動できる人材の育成を目的とし、学科の学修成果を獲得して所定の単位を修得した学生に学位を授与する。

知識・理解

- ・音楽に関する基礎的な知識を身に付けている。
- ・社会に貢献するために必要な基礎的知識を身に付けている。

思考・判断

社会の一員として主体性を持って考えることができ、自覚をもった行動・判断ができる。

興味・意欲・態度

音楽を通して地域社会に積極的に関わることができる。

技能・表現

- ・演奏・指導に関する実践力を身に付けている。
- ・身に付けたスキルを社会において活用することができる。

教育課程の編成及び実施に関する方針

(公表方法：[https://www.fukuoka-wjc.ac.jp/about/curriculum\\_policy.html](https://www.fukuoka-wjc.ac.jp/about/curriculum_policy.html) )

(概要)

音楽の基本を学ぶことにより、各専門分野の理論と実技をバランスよく修得するとともに、社会に貢献するための知識と教養を身に付けるよう次の方針でカリキュラムを編成している。

知識・理解

- ・音楽の理論及び演習を体系的に学習し、それらが実技と密接に関係していることを学ぶ。
- ・社会に貢献するために必要な基礎的知識を学習する。

思考・判断

社会の一員としての自覚を身に付けるとともに、他者を理解する力を養う。

興味・意欲・態度

演奏活動、実習、ボランティア活動等、学内・学外における実践的な経験を通して、主体性を高める力を養う。

技能・表現

- ・個人に合わせた教育プログラムを展開することにより、技能、表現の向上を図る。
- ・音楽の理論及び演習を基に実践力を身に付け、自ら応用していく力を養う。

入学者の受入れに関する方針

(公表方法：[https://www.fukuoka-wjc.ac.jp/about/admission\\_policy.html](https://www.fukuoka-wjc.ac.jp/about/admission_policy.html) )

(概要)

全学科共通のアドミッション・ポリシーは、以下のとおりである。

- ・高等学校卒業又はそれと同等以上の学力を有し、基礎的な知識を有している人。
- ・物事を多面的に考え、自分の意見をまとめることができる人。

音楽科のアドミッション・ポリシー

豊かな人間性と創造性に富み、音楽を通して身に付けた力を活かし広く社会貢献を目指す、次のような人を求めている。

知識・理解

高等学校卒業又はそれと同等以上の学力を有し、基礎的な知識を有している。

思考・判断

物事を多面的に考え、自分の意見をまとめることができる。

興味・意欲・態度

- ・主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を持っている。
- ・目標意識を持ち、自らの音楽に喜びをもって取り組むことができる。

技能・表現

これまでの音楽経験を基にした演奏、表現ができる。

|   |
|---|
| 学部等名 文化教養学科   |
| 教育研究上の目的<br>(公表方法： <a href="https://www.fukuoka-wjc.ac.jp/about/pdf/gakka-mokuteki.pdf">https://www.fukuoka-wjc.ac.jp/about/pdf/gakka-mokuteki.pdf</a> )  |
| (概要)<br><br>日本語日本文学、日本文化、実用英語、情報処理をはじめとする幅広い学びを通して、人間性豊かで、より良い人間関係を構築し、社会生活で主体的、積極的に行動できる人材の育成を目指す。   |
| 卒業の認定に関する方針<br>(公表方法： <a href="https://www.fukuoka-wjc.ac.jp/about/diploma_policy.html">https://www.fukuoka-wjc.ac.jp/about/diploma_policy.html</a> )   |
| (概要)<br><br>卒業については、卒業までに身に付けなければならない学修成果を獲得し、2年以上在学して所定の単位数を修得した者について、教授会の議を経て、認定している。<br><br>文化教養学科のディプロマ・ポリシーは、次のとおりである。<br><br>日本語日本文学、日本文化、実用英語、情報処理をはじめとする幅広い学びを通して、人間性豊かで、より良い人間関係を構築し、社会生活で主体的、積極的に行動できる人材の育成を目的とし、学科の学修成果を獲得して所定の単位数を修得した学生に学位を授与する。<br><br><b>知識・理解</b><br><ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語日本文学・日本文化・実用英語及び情報処理について強い関心を持ち、理解を深めている。</li> <li>・社会に貢献するために必要な基礎的知識を身に付けている。</li> </ul> <b>思考・判断</b><br>自分自身の在り方から社会貢献の在り方まで、主体性を持って考えることができる。 |
| <b>興味・意欲・態度</b><br>地域社会に貢献するため、様々な知識や意見などを積極的に役立てようとする意欲を持っている。   |
| <b>技能・表現</b><br>日本語を含めた語学、情報処理スキルを活用し社会生活において良好なコミュニケーションを行うことができる。   |

教育課程の編成及び実施に関する方針

(公表方法：[https://www.fukuoka-wjc.ac.jp/about/curriculum\\_policy.html](https://www.fukuoka-wjc.ac.jp/about/curriculum_policy.html) )

(概要)

国際的な視野を持ちつつ、日本の様々な文化についての理解を深め、社会に貢献するための知識と教養を身に付けるように次の方針でカリキュラムを編成している。

知識・理解

- ・日本語日本文学・日本文化及び外国の文化の魅力を感じ取ると共に必要な知識を学習する。
- ・自ら学ぶために必要な文献、資料、情報を得るための知識や技術を学習する。
- ・社会に貢献するために必要な基礎的知識を学習する。

思考・判断

- ・人間性や人間関係、また個人と社会との関係などを、主に文学作品を通して考える。
- ・地域社会への貢献と様々な実践の在り方について考える。
- ・自分の意見・主張を論理的に整理する。

興味・意欲・態度

- ・他者の意見や主張を尊重し、真摯に検討する態度を養う。
- ・地域への貢献、及び乳幼児や児童・生徒の成長を支援する意欲を養う。

技能・表現

- ・日本語の的確な意思疎通、外国の言葉や文化に対する理解を通して良好な人間関係を構築する力を養う。
- ・コンピュータの主要なソフトウェアを使って、分かりやすく表現する力を養う。

入学者の受入れに関する方針

(公表方法：[https://www.fukuoka-wjc.ac.jp/about/admission\\_policy.html](https://www.fukuoka-wjc.ac.jp/about/admission_policy.html) )

(概要)

全学科共通のアドミッション・ポリシーは、以下のとおりである。

- ・高等学校卒業又はそれと同等以上の学力を有し、基礎的な知識を有している。
- ・物事を多面的に考え、自分の意見をまとめることができる。

文化教養学科のアドミッション・ポリシー

日本や外国の様々な文化に強い関心を持ち、社会に貢献したいと考えている、次のような人を求めている。

知識・理解

高等学校卒業及びそれと同等以上の学力を有し、基礎的な知識を有している。

思考・判断

物事を多面的に考え、自分の意見をまとめることができる。

興味・意欲・態度

- ・主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を持っている。
- ・真摯な学習態度を持ち、身に付けた知識を社会に役立てる意欲を持っている。

技能・表現

自分の考えを他者に分かりやすく説明できる。

学部等名 子ども学科

教育研究上の目的

(公表方法：<https://www.fukuoka-wjc.ac.jp/about/pdf/gakka-mokuteki.pdf> )

(概要)

保育を実践するものとしての知識と技術を修得し、将来にわたって自分の保育の質を自ら高めることができる人材の育成を目指す。

卒業の認定に関する方針

(公表方法：[https://www.fukuoka-wjc.ac.jp/about/diploma\\_policy.html](https://www.fukuoka-wjc.ac.jp/about/diploma_policy.html) )

(概要)

卒業については、卒業までに身に付けなければならない学修成果を獲得し、2年以上在学して所定の単位数を修得した者について、教授会の議を経て、認定している。

子ども学科のディプロマ・ポリシーは、次のとおりである。

保育を実践するものとしての知識と技術を修得し、将来にわたって自分の保育の質を自ら高めることができる人材の育成を目的とし、学科の学修成果を獲得して所定の単位を修得した学生に学位を授与する。

知識・理解

- ・子どもの心身の成長・発達について理解している。
- ・保育の目的、方法、内容について理解している。

思考・判断

- ・子どもを取り巻く環境を的確に把握することができる。
- ・子どもの日々の課題に応じて、適切に対処することができる。

興味・意欲・態度

- ・世の中の出来事に、幅広く興味・関心を持つことができる。
- ・子どもと関わる大人としての自覚を持ち、それにふさわしい態度や言動をとることができる。

技能・表現

- ・子どもにとって安全・快適な環境を整えることができる。
- ・子どもの表現活動を豊かにするために必要な技能（音楽系、図画工作系、体育系他）を有している。
- ・子どもやその関係者と適切なコミュニケーションをとり、信頼関係を構築することができる。

教育課程の編成及び実施に関する方針

(公表方法:[https://www.fukuoka-wjc.ac.jp/about/curriculum\\_policy.html](https://www.fukuoka-wjc.ac.jp/about/curriculum_policy.html) )

(概要)

保育に必要な原理、および理念を学ぶとともに実践技術を修得できるように支援する。特に、「理論と実践技術と保育実践が結びつくことによって保育が成立すること」を学べるように次の方針でカリキュラムを編成している。

知識・理解

保育の目的、方法、内容を理解し深化させるために、段階的に学ぶ。

思考・判断

子どもを取り巻く環境を的確に把握する思考力や、子どもの日々の課題に応じて、適切に対処することができるような判断力を身に付ける。

興味・意欲・態度

- ・社会人としての教養を身に付け、保育者としての自覚・責任を持って行動する力を養う。
- ・向上心を持って生活し、意欲的に他者や地域と関わって行く力を養う。

技能・表現

- ・子どもにとって安全・快適な環境を整えたり、子どもの表現活動を豊かにするために必要な技能を修得する。
- ・感性を養うことで自己表現の涵養を図る。

入学者の受入れに関する方針

(公表方法:[https://www.fukuoka-wjc.ac.jp/about/admission\\_policy.html](https://www.fukuoka-wjc.ac.jp/about/admission_policy.html) )

(概要)

全学科共通のアドミッション・ポリシーは、以下のとおりである。

- ・高等学校卒業又はそれと同等以上の学力を有し、基礎的な知識を有している。
- ・物事を多面的に考え、自分の意見をまとめることができる。

子ども学科のアドミッション・ポリシー

人への思いやりや優しさを持ち、子どもたちと関わる喜びを全身で感じ取れる、次のような人を求めている。

知識・理解

高等学校卒業及びそれと同等以上の学力を有し、基礎的な知識を有している。

思考・判断

物事を多面的に考え、自分の意見をまとめることができる。

興味・意欲・態度

- ・主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を持っている。
- ・子どもについて関心を持ち、笑顔をもって保育に携わりたいと考えている。

技能・表現

自分の考えを他者に分かりやすく説明できる。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<https://www.fukuoka-wjc.ac.jp/about/pdf/3-wjc.pdf>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

| a. 教員数（本務者）   |  |                                       |     |    |    |           |     |
|---|--|---------------------------------------|-----|----|----|-----------|-----|
| 学部等の組織の名称   | 学長・副学長   | 教授                                    | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手<br>その他 | 計   |
| —   | 1人   | —                                     |     |    |    |           | 1人  |
| 健康栄養学科  | —  | 5人                                    | 1人  | 0人 | 0人 | 3人        | 9人  |
| 音楽科   | —  | 3人                                    | 2人  | 0人 | 0人 | 0人        | 5人  |
| 文化教養学科  | —  | 3人                                    | 1人  | 1人 | 0人 | 0人        | 5人  |
| 子ども学科   | —  | 3人                                    | 1人  | 5人 | 0人 | 0人        | 9人  |
| 教養教育他   | —  | 3人                                    | 1人  | 0人 | 0人 | 0人        | 4人  |
| 合計  | 1人   | 17人                                   | 6人  | 6人 | 0人 | 3人        | 32人 |
| b. 教員数（兼務者）   |  |                                       |     |    |    |           |     |
| 学長・副学長  |  | 学長・副学長以外の教員                           |     |    |    |           | 計   |
| 1人  |  | 52人                                   |     |    |    |           | 53人 |
| 各教員の有する学位及び業績<br>（教員データベース等）                                | 公表方法：<br><a href="https://www.fukuoka-wjc.ac.jp/about/teacher/index.html">https://www.fukuoka-wjc.ac.jp/about/teacher/index.html</a> |                                       |     |    |    |           |     |
| c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）                          |  |                                       |     |    |    |           |     |
| 授業評価アンケート結果学内開示（前期 4. 10. 17～4. 11. 4・後期 5. 4. 12～5. 4. 28） |  |                                       |     |    |    |           |     |
| 授業参観（前期 4. 5. 30～4. 7. 22・後期 4. 10. 3～4. 12. 23）            |  |                                       |     |    |    |           |     |
| FD／SD研修会  | 4. 4. 1  | 新任者研修会                                |     |    |    |           |     |
|   | 4. 10. 26  | 学生相談室の現状と支援：退学者に着目して                  |     |    |    |           |     |
|   | 4. 12. 21  | シラバス記入について                            |     |    |    |           |     |
|   | 5. 3. 29   | LMSの機能を利用した反復学習の方法とその実践<br>（小テストの使い方） |     |    |    |           |     |



④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

| 学部等名   | 入学定員<br>(a) | 入学者数<br>(b) | b/a   | 収容定員<br>(c) | 在学生数<br>(d) | d/c   | 編入学<br>定員 | 編入学<br>者数 |
|--------|-------------|-------------|-------|-------------|-------------|-------|-----------|-----------|
| 健康栄養学科 | 50人         | 30人         | 60.0% | 100人        | 65人         | 65.0% | 0人        | 0人        |
| 音楽科    | 50人         | 21人         | 42.0% | 100人        | 36人         | 36.0% | 0人        | 0人        |
| 文化教養学科 | 70人         | 39人         | 55.7% | 140人        | 79人         | 56.4% | 0人        | 0人        |
| 子ども学科  | 70人         | 32人         | 45.7% | 140人        | 71人         | 50.7% | 0人        | 0人        |
| 合計     | 240人        | 122人        | 50.8% | 480人        | 251人        | 52.3% | 0人        | 0人        |
| (備考)   |             |             |       |             |             |       |           |           |

b. 卒業生数、進学者数、就職者数

| 学部等名   | 卒業生数           | 進学者数           | 就職者数<br>(自営業を含む。) | その他           |
|--------|----------------|----------------|-------------------|---------------|
| 健康栄養学科 | 18人<br>(100%)  | 0人<br>( 0.0%)  | 17人<br>( 94.4%)   | 1人<br>( 5.6%) |
| 音楽科    | 21人<br>(100%)  | 7人<br>( 33.3%) | 14人<br>( 66.7%)   | 0人<br>( 0.0%) |
| 文化教養学科 | 47人<br>(100%)  | 1人<br>( 2.1%)  | 42人<br>( 89.4%)   | 4人<br>( 8.5%) |
| 子ども学科  | 35人<br>(100%)  | 0人<br>( 0.0%)  | 35人<br>( 100%)    | 0人<br>( 0.0%) |
| 合計     | 121人<br>(100%) | 8人<br>( 6.6%)  | 108人<br>( 89.3%)  | 5人<br>( 4.1%) |

(主な進学先・就職先) (任意記載事項)

【進学】  
国立音楽大学 音楽学部、武蔵野音楽大学 音楽学部、筑紫女学園大学 人間科学部、別府大学 文学部、産業能率大学 通信教育課程、福岡女子短期大学 専攻科 音楽専攻

【就職】  
粕屋町立粕屋東中学校、御幸保育園、リアンかしはら保育園、仁愛保育園、若竹保育園、小木こども園、さつき保育園、(株)ドラッグストアモリ、福岡市立香椎第2中学校、新宮町立新宮中学校、宗像市立城山中学校、飯塚市立庄内中学校、行橋市立今元中学校、小川楽器(株)、筑後信用金庫、粕屋町立粕屋中学校、春日市立春日中学校、うきは市立図書館、糸島市立図書館、下関市立中央図書館、九州大学附属図書館(理系図書館)、那珂川市立片縄小学校、宇美町立桜原小学校、紙与産業(株)、久留米市農業協同組合(JAくるめ)、太宰府天満宮、ながずみ幼稚園、美和台幼稚園、ダリヤ幼稚園、アートチャイルドケア福岡今宿保育園、ひかり保育園、恵美保育園、筑紫ヶ丘保育園、茶山保育園、みそら保育園、ゆめの森こども園、星ヶ丘保育園、保育所慈生園、さくら保育園他

(備考)

| 学部等名   | 入学者数             | 修業年限期間内<br>卒業者数  | 留年者数       | 中途退学者数         | その他        |
|--------|------------------|------------------|------------|----------------|------------|
| 健康栄養学科 | 19 (27.1%)<br>人  | 18 (94.7%)<br>人  | 0 (%)<br>人 | 1 (5.3%)<br>人  | 0 (%)<br>人 |
| 音楽科    | 24 (30.0%)<br>人  | 20 (83.3%)<br>人  | 0 (%)<br>人 | 4 (16.2%)<br>人 | 0 (%)<br>人 |
| 文化教養学科 | 50 (71.4%)<br>人  | 46 (92.0%)<br>人  | 0 (%)<br>人 | 4 (8.0%)<br>人  | 0 (%)<br>人 |
| 子ども学科  | 38 (54.3%)<br>人  | 35 (92.1%)<br>人  | 0 (%)<br>人 | 3 (7.9%)<br>人  | 0 (%)<br>人 |
| 合計     | 131 (45.2%)<br>人 | 119 (90.8%)<br>人 | 0 (%)<br>人 | 12 (9.2%)<br>人 | 0 (%)<br>人 |
| (備考)   |                  |                  |            |                |            |

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

| (概要)  |
|---|
| <p>授業の方法、授業の目的、到達目標、授業計画、成績評価方法等を記載したシラバスを作成し、ホームページで公表している。シラバスに記載する内容と作成要領は、教務委員会で検討して決定し、授業を担当する全教員（非常勤を含む）に周知している。本年度のシラバスについては、全教員を対象に「シラバス作成について」のFD研修会を令和4年12月21日（水）に実施後、作成した。</p> <p>また、作成された「シラバス」については、教務委員会を中心に他教員による第三者チェックを実施している。</p> |

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

| (概要)  |        |  |                      |                       |
|---|--------|--|----------------------|-----------------------|
| <p>授業科目の学修成果の評価については、シラバスに成績評価方法として記載し、学生に周知している。教員は、試験やレポートなど、シラバスに記載した成績評価方法のとおり、学修成果の評価を行い、これに基づいて単位を与えている。卒業については、全学・各学科のディプロマ・ポリシーに沿って教授会の議を経て、認定している。</p> |        |  |                      |                       |
| 学部名   | 学科名    | 卒業に必要な<br>単位数  | GPA制度の採用<br>(任意記載事項) | 履修単位の登録上限<br>(任意記載事項) |
|   | 健康栄養学科 | 64 単位  | ㊦・無                  | 30 単位                 |
|   | 音楽科    | 64 単位  | ㊦・無                  | 30 単位                 |
|   | 文化教養学科 | 64 単位  | ㊦・無                  | 30 単位                 |
|   | 子ども学科  | 64 単位  | ㊦・無                  | 30 単位                 |
| GPAの活用状況（任意記載事項）  |        | 公表方法：<br><a href="https://www.fukuoka-wjc.ac.jp/about/diploma_1.html">https://www.fukuoka-wjc.ac.jp/about/diploma_1.html</a>   |                      |                       |
| 学生の学修状況に係る参考情報<br>(任意記載事項)  |        | 公表方法：<br><a href="https://www.fukuoka-wjc.ac.jp/about/pdf/enq-1.pdf">https://www.fukuoka-wjc.ac.jp/about/pdf/enq-1.pdf</a><br><a href="https://www.fukuoka-wjc.ac.jp/about/pdf/2023_14-wjc.pdf">https://www.fukuoka-wjc.ac.jp/about/pdf/2023_14-wjc.pdf</a><br><a href="https://www.fukuoka-wjc.ac.jp/about/pdf/enq-3.pdf">https://www.fukuoka-wjc.ac.jp/about/pdf/enq-3.pdf</a> |                      |                       |

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：

<https://www.fukuoka-wjc.ac.jp/about/pdf/7-wjc.pdf>

<https://www.fukuoka-wjc.ac.jp/life/campus.html>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

| 学科名    | 授業料<br>(年間) | 入学金       | その他       | 備考 (任意記載事項)   |
|--------|-------------|-----------|-----------|---|
| 健康栄養学科 | 600,000 円   | 210,000 円 | 340,000 円 | その他は、施設資金、教育充実費<br>休学の場合は在籍料として学期ごとに 150,000 円を徴収する |
| 音楽科    | 780,000 円   | 210,000 円 | 500,000 円 |   |
| 文化教養学科 | 600,000 円   | 210,000 円 | 320,000 円 |   |
| 子ども学科  | 600,000 円   | 210,000 円 | 340,000 円 |   |

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組

(概要)

学生の修学に係る支援の概要

本学における修学支援は、学生部長を中心として構成される学生委員会また学生部長を委員長とした学生相談室運営委員会と学生支援課が協働して修学支援・学生生活支援のための事項について審議、実施している。

- ① クラスアドバイザー制度の実施  
クラスアドバイザーは、学生の公私の問題に関して助言と指導を行っている。
- ② 新入生オリエンテーションの実施  
入学当初に行うオリエンテーションで、各学科の教員紹介・学科概要及び教養教育、専門教育等の授業科目の説明の他、サークル紹介や学内ツアー等を実施している。
- ③ 保護者との連携  
各学科及びアドバイザーとキャリア支援課、履修支援課、学生支援課による「保護者懇談会」を実施している。二部構成で実施し、全体説明会では、「就活」における「学生・保護者」の心構えやスケジュール等の説明、クラス別集会では、アドバイザーによる個別面談を行っている。
- ④ 学友会活動への支援  
学友会執行部、学園祭実行委員会が実施する各行事を円滑に遂行するため、学生委員を交えた学友会協議会、学園祭協議会を随時開催し大学との意思疎通を図っている。

入学者に対する入学金及び前期授業料等の納入猶予について

入学金の猶予は行っていないが、日本学生支援機構の給付奨学金の採用候補者に対しては、「採用候補者決定通知」の写しを出願時に提出することにより、入学後、「進学届」提出完了後に採用が決定するまで、前期授業料の納入を猶予している。

|  |
|--|
| <p>b. 進路選択に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>キャリア支援委員会とキャリア支援課とが連携して進路支援に取り組んでいる。正課では1年次からのキャリア科目の展開を行い、正課外では数多くの学内セミナーを開催している。</p> <p>キャリア支援課では、求人情報の提供は勿論、進路相談、履歴書指導、模擬面接他の個別支援を行っている。</p> <p><a href="https://www.fukuoka-wjc.ac.jp/work/support.html">https://www.fukuoka-wjc.ac.jp/work/support.html</a></p>  |
| <p>c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>学生の心身の健康等に係る支援</p> <p>本学では、学生相談室を設置し、学生部長を委員長とした学生相談室運営委員会と学生支援課が協働して「人間関係」「心身」「履修」「進路」など様々な不安に対し、クラスアドバイザーおよび専任の臨床心理士による相談、指導を行っている。</p> <p>主な相談内容は、心身の健康状態や人間関係、修学や進路等である。また、家族との相談や医療機関等の外部機関との連携、協力も行っている。障がいを抱える学生に対しは、合理的配慮に基づいた支援を行っている。相談活動以外にも、学生全体へのアプローチとして、社会性の促進を目的としたグループワークやハラスメント予防に向けた研修も実施している。</p> <p>また、毎年4月の2週目に健康診断及びメンタルヘルス問診を実施している。</p> |

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

|  |
|--|
| <p>公表方法：</p> <p>「教員が有する学位及び業績」ページで各教員の研究業績を公表<br/> <a href="https://www.fukuoka-wjc.ac.jp/about/teacher/index.html">https://www.fukuoka-wjc.ac.jp/about/teacher/index.html</a></p> <p>福岡女子短期大学研究紀要 (毎年発行)<br/> <a href="https://cloud.https://www.fukuoka-wjc.ac.jp/about/pdf/2023_14-wjc.pdf">https://cloud.https://www.fukuoka-wjc.ac.jp/about/pdf/2023_14-wjc.pdf</a><br/> <a href="https://www.fujitsu.com/iwjs0001opc/TA10037557">https://www.fujitsu.com/iwjs0001opc/TA10037557</a></p> <p>(お問い合わせ：福岡女子短期大学図書館)<br/> T E L: 092-922-3604<br/> E-mail: <a href="mailto:libml@fukuoka-wjc.ac.jp">libml@fukuoka-wjc.ac.jp</a></p> |
|--|

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

|       |               |
|-------|---------------|
| 学校コード | F240310110962 |
| 学校名   | 福岡女子短期大学      |
| 設置者名  | 学校法人九州学園      |

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

|                    |      | 前半期 | 後半期 | 年間  |
|--------------------|------|-----|-----|-----|
| 支援対象者（家計急変による者を除く） |      | 51人 | 53人 | 55人 |
| 内<br>訳             | 第Ⅰ区分 | 27人 | 32人 |     |
|                    | 第Ⅱ区分 | 13人 | 11人 |     |
|                    | 第Ⅲ区分 | 11人 | 10人 |     |
| 家計急変による支援対象者（年間）   |      |     |     | 0人  |
| 合計（年間）             |      |     |     | 55人 |
| (備考)               |      |     |     |     |

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

|    |    |
|----|----|
| 年間 | 0人 |
|----|----|

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

|   | 右以外の大学等 | 短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。） |     |
|---|---------|---|-----|
|   | 年間      | 前半期   | 後半期 |
| 修業年限で卒業又は修了できないことが確定  |         | 0人  | 0人  |
| 修得単位数が標準単位数の5割以下<br>（単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下） |         | 0人  | 0人  |
| 出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況                                     |         | 0人  | 0人  |
| 「警告」の区分に連続して該当  |         | 0人  | 0人  |
| 計   |         | 0人  | 0人  |
| (備考)  |         |   |     |

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（2）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑つて認定の効力を失つた者の数

| 右以外の大学等 |     | 短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。） |  |
|---------|-----|---|--|
| 年間      | 前半期 | 後半期   |  |
|         | 0人  | 0人  |  |

（3）退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

|         |    |
|---------|----|
| 退学      | 0人 |
| 3月以上の停学 | 0人 |
| 年間計     | 0人 |
| (備考)    |    |

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

|         |    |
|---------|----|
| 3月未満の停学 | 0人 |
| 訓告      | 0人 |
| 年間計     | 0人 |
| (備考)    |    |

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

|  | 右以外の大学等 |     |     |
|--|---------|-----|-----|
|  | 年間      | 前半期 | 後半期 |
| 短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。） |         |     |     |
| 修得単位数が標準単位数の6割以下<br>(単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)            |         | 0人  | 0人  |
| GPA等が下位4分の1  |         | 0人  | 0人  |
| 出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況   |         | 0人  | 0人  |
| 計  |         | 0人  | 0人  |
| (備考)   |         |     |     |

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。